

パラリンアートによる

新型コロナウイルスに関するアンケート調査結果報告書

～障がいがあるからこそ今どのような事で困っているのか
そして今この状況だからこそ求められている事～

本調査(アンケート)は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い日常においてハンディがない人中心の情報が多く、障がいのある方が今どのような事で困っているのか、そして今この状況だからこそ求められている事を明らかにし今後、緊急時に障がいのある方々へのサポート方法の参考にすることそして調査結果を元に、企業、自治体、政府への働きかけることを目的としています。

【調査主】

一般社団法人障がい者自立推進機構 パラリンアート事務局

パラリンアートは「障がい者がアートで夢を叶える世界をつくる」を理念に、民間企業の皆様とパートナー契約を結び、障がい者の社会参加と経済的自立を推進しています。民間企業の皆様へは、「SDGs/ESG/CSR の推進および見える化」、「企業で使用するデザイン」、「企業文化の向上と社員育成」、「アート」を提供しています。

【調査期間】

2020年4月2日～2020年4月8日

【調査対象】

全パラリンアートアーティスト

※施設・団体含む約570名

【調査方法】

WEBサイトのアンケートフォームに入力してもらう

【回収状況】

回答件数：110件

回答率：19.2%

【アンケート結果】

今回のアンケートでは、全国のパラリンアートアーティストを対象者とし約570名に

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、現在障がいがあるからこそ困っていること、求めていることについて調査しました。

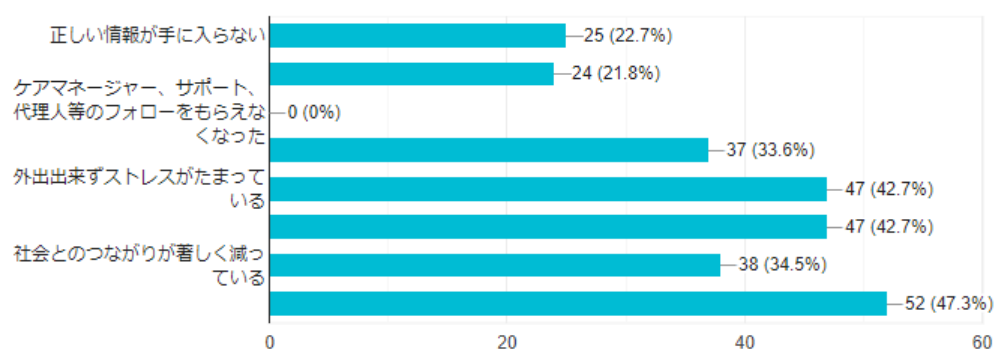
●障がいがあるからこそ不安になること・困っていること

”社会とのつながりが著しく減っている”が 47.3%、

”外出が出来ずストレスがたまっている”と”自粛が多く、アートを発揮する等自身の表現や活動を行う場所が減っている”が 42.7%と上位を占める結果となりました。

障がいがあるからこそ不安になること・困っていることはありますか？

110 件の回答



●障がいの有無に関係なく新型コロナウイルスが流行している事で不安になること・困っていること

”外出が出来ずストレスがたまっている”が 47.3%と回答が多くあったが、それを上回ったのが”金銭的不安”でした。

障がいの有無に関係ない場合は金銭的不安が 1 位とされていましたが、障がいがあるからこそその不安や困っている事に関しての自由記述では、服薬している薬がもらえなくなるのではないかと、免疫力が低く感染した時のリスクが高い、アートを発揮する場所が減ってしまった等の回答が多く見られました。

【自由回答一部抜粋】

○医療崩壊がおきそうな今、定期的に飲んでる薬はもらえるか？喘息発作発作の時の処置はして貰えるか？考えると不安です。

(40 代女性 知的障がい)

○免疫力が低いいため感染しないか不安

(10代女性 知的障がい、精神障がい)

○もし、感染して入院した場合、身内の付き添いが不可能な為、不安である

(10代男性 知的障がい)

○これまで行われていた障害者支援体制が後回しになっている

(30代男性 身体障がい、精神障がい)

○有事の時、障害を理由に後回しにならないか。

(40代女性 身体障がい)

○全ての事にサポートが必要な為、配慮が必要な為家族の負担は大きいです。

(20代女性 知的障がい)

○通っている学校・施設・病院・集まりに行くことが出来ない、社会とのつながりが著しく減っている

(40代男性 精神障がい)

○自粛が多く、アートを発揮する等自身の表現や活動を行う場所が減っている、社会とのつながりが著しく減っている

(40代男性 精神障がい)

○体調が変化して(メンタルの)絵を描けないでいます。でもいつかまた参加できたらと思う程、この活動の存在は大きかったです。

(30代女性 精神障がい)

すべてのアンケート結果をご存知になりたい方は下記メールアドレスにお問い合わせいただくか、お問い合わせフォームへご連絡ください。

メールアドレス：info@paralymart.or.jp

お問い合わせフォーム：<https://paralymart.or.jp/contact/>